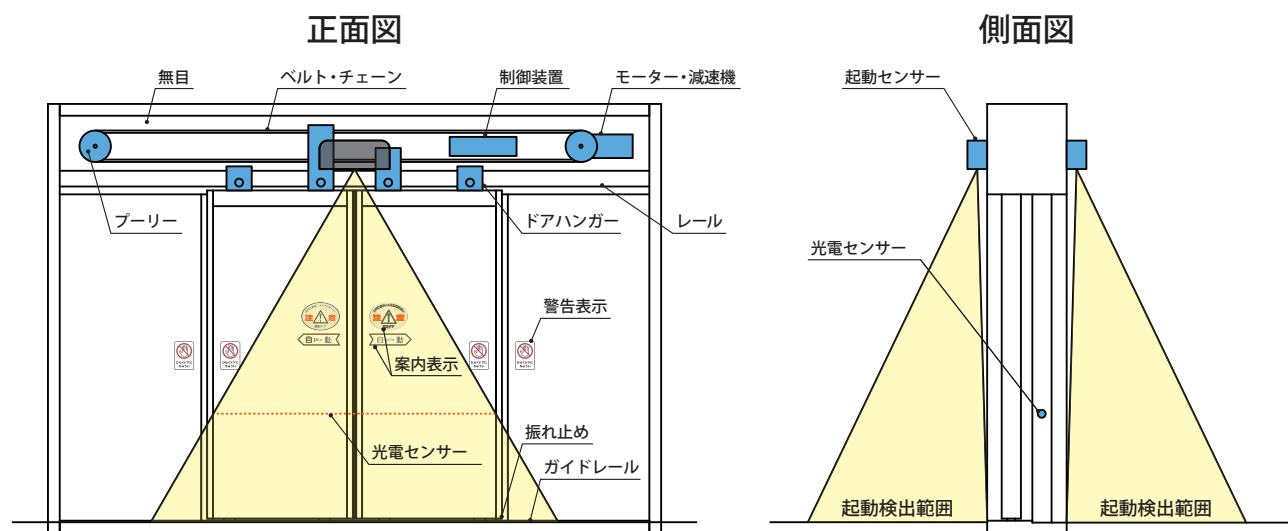


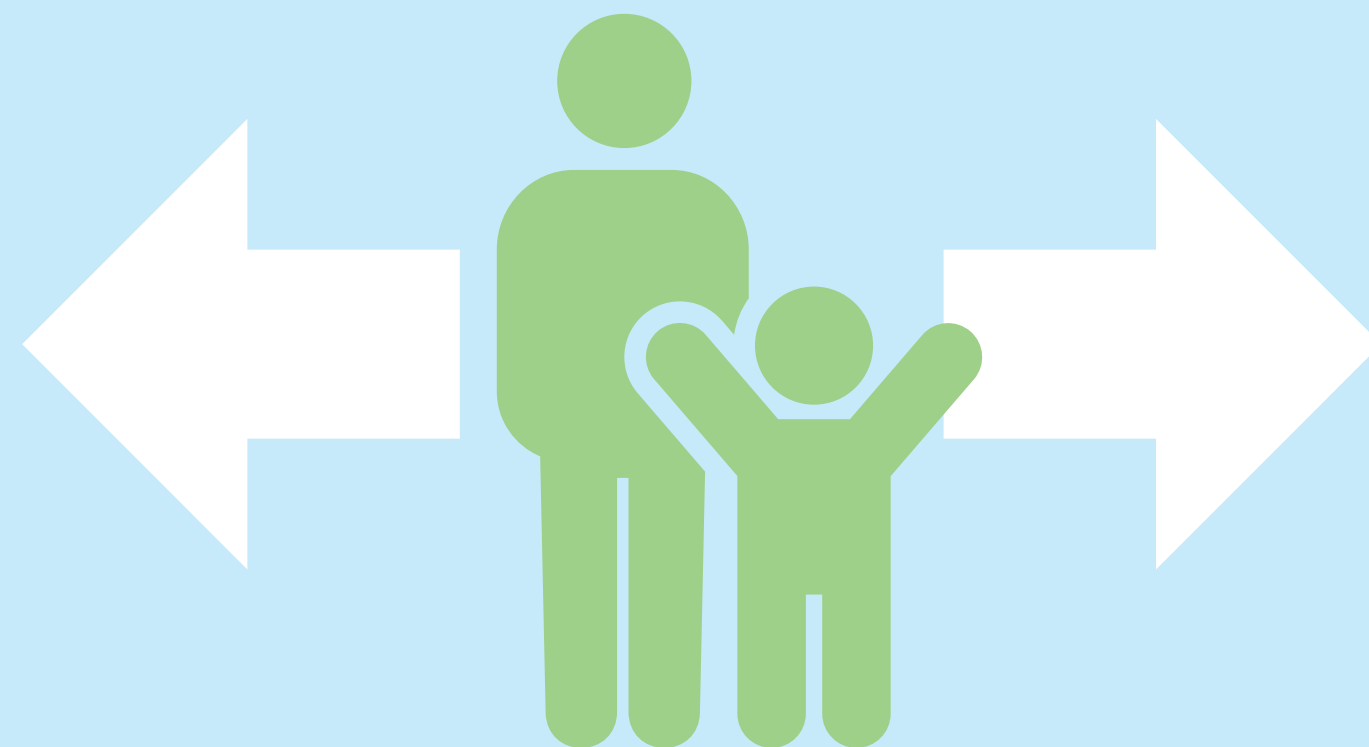
自動ドアのしくみ

自動ドアは起動センサーが通行者を検出すると制御装置へ信号が送られ、ドアが開きます。起動センサーや光電センサーが通行者を検出しなくなるとドアは閉まりはじめます。光電センサーはドア走行部での立ち止まりによる挟まれを防止するために設置されています。

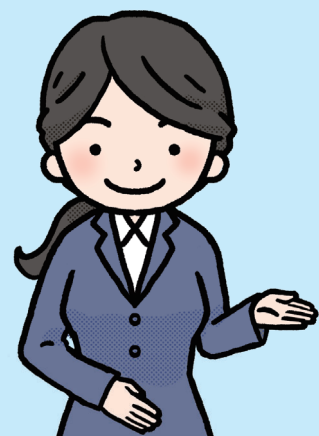


通行者のための 安全ガイド

JADA
全国自動ドア協会



●建物管理者の皆様へお願い



通行者の皆様が自動ドアを
安全にご通行いただくために、
本書で紹介している7つのポイントに加えて
『案内表示』『警告表示』
等の貼り付けも重要となりますので
ご協力くださいますようお願いいたします。
※安全ガイドブックをご参照ください。

自動ドアを安全に ご利用いただくために

『守っていただきたい7つのポイント』『自動ドアのしくみ』を
ご理解いただきますようお願いします。

全国自動ドア協会では、JIS A 4722に準拠した安全ガイドブックを発行し、自動ドアの更なる安全性の向上に向け、JIS規格の要求事項を満たす自動ドアの設置を推奨しています。

全国自動ドア協会 (Japan Automatic Door Association)は、自動ドアの製造およびその販売会社で構成され、社会に快適で安全な自動ドアを提供することを目的とした民間の団体です。

JADA
全国自動ドア協会

〒105-0022 東京都港区海岸1-9-18
TEL 03-3436-3287 FAX 03-5473-9576
URL : <http://jada-info.jp>

本書の内容は著作権法によって保護されています。第三者が無断でこの著作物の一部または全部を営利目的に使用することを禁じます。
※これらの情報を利用することにより直接・間接的に生じた損害に関して、一切の責任を負うものではありません。

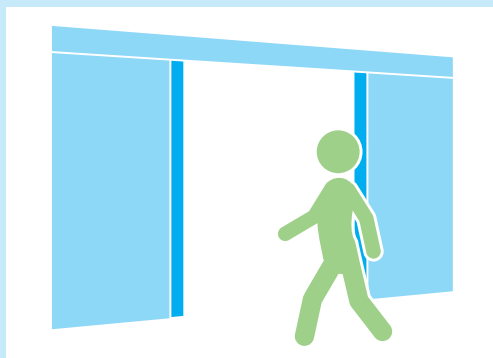
通行者のための安全ガイド
1999年12月 初版 第一刷発行
2025年 8月 五版 第一刷発行



守っていただきたい 7つのポイント

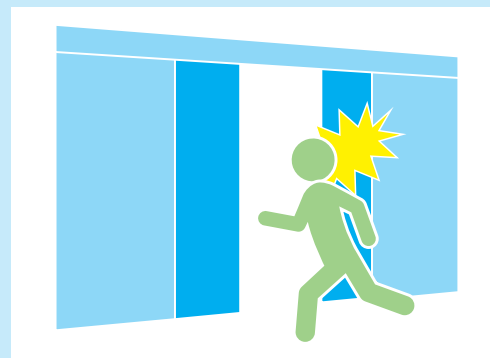
1 ドアが十分に開いてから 通行しましょう

ドアが十分に開いたことを確認してから通行しましょう。無理な通行は事故のもとになります。



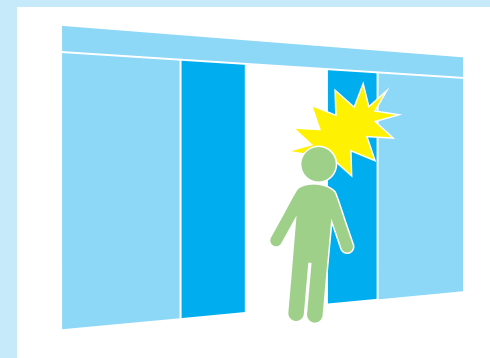
2 かけ込むのは やめましょう

センサーが人を検出してもドアはすぐには開きません。かけ込むとドアに接触するおそれがあり危険です。かけ込むのはやめましょう。



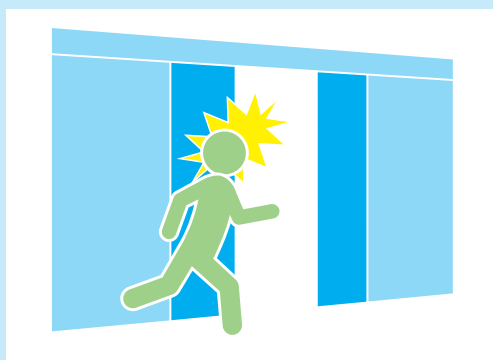
3 ドアの上に立ち止まるのは やめましょう

開いたドアの上に立ち止まるとドアに挟まれるおそれがあります。立ち止まるのはやめましょう。



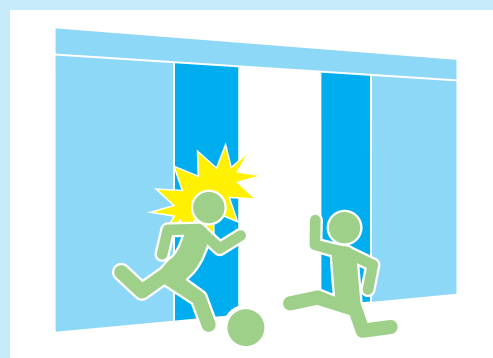
4 自動ドアに斜めから入るのは やめましょう

自動ドアに横方向や斜めから近づくとセンサーの検出が遅れドアに接触するおそれがあります。通行する際は、自動ドアの正面から入るようにしましょう。



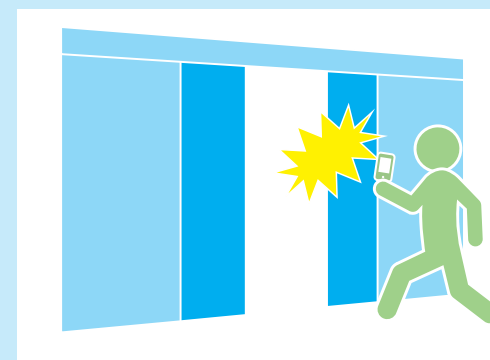
6 自動ドアの周りで遊ばせるのは やめましょう

お子様が自動ドアの周りで遊んでいるとドアに身体を挟まれたり、戸袋に手などを引き込まれるおそれがあります。遊ばせるのはやめましょう。



5 通行中のスマートフォンの使用は やめましょう

通行中にスマートフォンや携帯端末などを使用していると前方不注意となり、ドアに接触するおそれがあります。通行中の使用はやめましょう。



7 小さなお子様は 手をつないで通りましょう

小さなお子様やお年寄り、お身体の不自由な方が通行する場合には周囲にいる方が付き添うなどの配慮をお願いします。

